

鏡と低緊張性十二指腸造影で Vater 乳頭は腫大しており、生検では腺腫の診断であった。内視鏡的逆行性胆管膵管造影では異常なく、超音波内視鏡では腫瘍の深達度診断は困難であった。

以上より十二指腸乳頭部腺腫の診断のもとに、内視鏡的粘膜切除を行った。病理組織診断は高分化型腺癌であった。術後は一過性の急性膵炎を併発したものの軽快、特に外科的切除は追加せず、現在は経過観察中である。

内視鏡的乳頭切除は十二指腸乳頭部腺腫の治療に有用であると考えられた。

5. 急性胆嚢炎に対する胆嚢穿刺とドレナージ術

青山博道, 奥山和明, 阿部恭久
西郷健一, 軽部友明

(公立長生・外科)

我々は急性胆嚢胆管炎に対し、腹部超音波所見を中心に、高齢者や他疾患を有するなど比較的 Risk の高い症例には胆嚢ドレナージ（以下 PTGBD）を、その他の症例には胆嚢一回穿刺（以下 PTGBA）を行なった。1997年5月から1998年6月までに公立長生病院で施行した PTGB 12例について検討する。背景因子の検討では、両群とも発症から3日以内、穿刺前の白血球数は1万～2万と高く、2万を超える例も認めた。PTGB 後経過の検討では、両群ともに穿刺から3日以内に腹部症状は消失しているものが多い。37度以下の平熱化は、両群ともにほぼ3日以内。PTGBD 群で遷延を認めた例は、肺炎等他の疾患の影響が考えられた。穿刺後、PTGBA 群は7例中6例に、PTGBD 群は5例中4例に手術を施行している。両群ともに穿刺後の胆嚢胆管炎亜急性期に手術を施行しており、手術時間が長く出血量が多いと考えられた。

まとめ：PTGBA のみでも速やかな症状の軽快が認められた。穿刺後の亜急性期での手術では困難例が多く認められた。穿刺後の経口摂取に伴う再燃を含め、手術までの期間の検討が必要と考えられた。

6. 胆石症に対する日帰り手術の検討

小寺正人, 島村善行, 小雲慎也
高山 悟, 向後正幸, 吉武 理
松浦多賀雄, 加賀谷正, 渡辺英二郎
藤田省吾, 塚田一義, 石井正典
(千葉西総合・外科)

今回われわれは、平成9年9月1日より平成10年6月11日までに19例の日帰り胆嚢摘出術を経験した。

日帰り胆嚢摘出術は、腹腔鏡下に摘出可能と思われる胆石症および胆嚢ポリープで総胆管結石がないものが対象である。

19例のうち胆石症が17例、胆嚢ポリープが2例で、

即日退院4例、翌朝退院13例（うち4例が退院延期による）、開腹移行2例であった。

胆嚢疾患に対する日帰り手術導入のポイントとしては、1. 専任のコーディネーターによる術前面談および術後管理、そして24時間対応できるフォローアップ体制、2. 皮下埋没縫合、フィルムドレッシングなどによる自己管理が容易な創処置、3. 術後疼痛対策：NSAID の定時投与、手術終了時の創部への浸潤麻酔、硬膜外麻酔の併用、4. ドレーンを留置しない工夫：十分な腹腔洗浄と止血の確認、術中胆道造影の省略、5. 即日退院にこだわらず over night や2泊3日での退院も考慮、などがある。

7. 内視鏡的乳頭切開術後胆管胆石の頻回再発を長期に亘り認めた1例

石井良実, 露口利夫, 大野博之
鈴木秀明, 服部祐爾, 斉藤雅彦
土屋正一, 石原 武, 山口武人
税所宏光 (千大・一内)

EPT の後期合併症として胆管胆石の再発は常に問題となる。昭和50年12月から平成7年12月までに、胆摘後群において EPT により胆管胆石の治療に成功したのは292例である。その中で2回以上の胆管胆石の再発をみたのは3例（1.5%）であったが、20回以上の再発を認めたのは1例のみであった。そこで再発の要因について臨床的検討を行った。症例は70歳、男性。昭和45年胆嚢胆石にて胆嚢摘出術を、昭和61年胆管胆石にて EPT を施行した。その後現在に至るまでに計29回の胆管胆石の再発を認め、その都度内視鏡的に黄褐色泥状のビス石を排石した。胆汁培養では主にグラム陰性桿菌が検出され、乳頭切開口の狭窄、胆摘後の胆管狭窄、肝内胆石合併等は認めなかった。POCS, IDUS では胆管粘膜の強い炎症性変化を認めた。胆道シンチでは胆汁の通過障害は認めなかった。以上より、腸内容物の逆流による胆道感染や胆管内の粘液等が、再発の要因と考えられた。EPT 後胆管胆石の再発を考える上で示唆に富む1例を経験したので報告した。

8. 瘻孔より十二指腸に排出されたが通過障害のため開腹手術を施行した巨大胆嚢胆石の1例

佐藤 徹, 仲野敏彦, 小山秀彦
長門義宣, 安原一彰, 伊藤文憲
(船橋中央・内科)
豊沢 忠, 武藤高明
(同・外科)
近藤福雄 (同・病理)

胆石イレウスは、胆石症の0.3～0.5%にみられる比較的古い疾患であり、診断も難しいとされてきたが、画像診断の発達により正診率は70%程度にまで向上し